

ジンを生産してきたが、LNG燃料対応の設備完成後は開発を促進し、従来の重油とLNGの両燃料の使い分けが可能な船用低速二元燃料機関（DFエンジン）を開発、生産する。

事業計画では投資額8億円をかけ、エンジン実験棟内の重油焚きテストエンジンをLNG焚き運転も可能とする開発試験設備に改造。屋外にはDFエンジンを運転するための高圧燃料ガス供給設備を導入し、同設備のコントロールルーム（約20㎡）を整備する。今年9月に長洲町と立地協定を締結しており、11月に着工し、2016年11月に試験運転を始め、17年4月には生産を開始する予定。新たに32人を雇用する。

また、同工場は現在、大型船向けのエンジンの生産体制を拡大するための増設を行っている。これはアジアなど途上国の経済発展に伴う物流の増大で大型コンテナ船の需要が拡大しており、これに対応するもので、約4億5千万円を投じて同工

場内に大型機生産のためのポンプや冷却設備を新設する。

現在製造しているディーゼルエンジンの出力は約3万2千kwだが、新たな

太陽電池一体型屋根材を製造 22億円かけ新工場増設

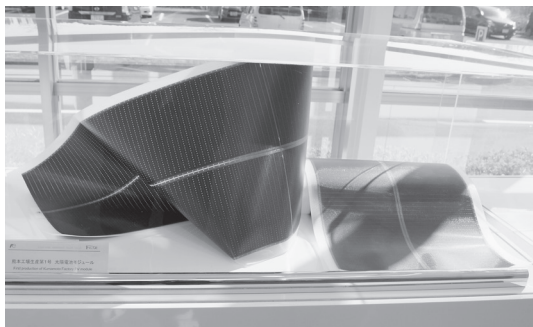
FWAVE

「少子化など人口減少の影響で今後、確実に新築の着工数は減少する。そこで、我々が注目したのが中古住宅・リフォーム市場です。こう語るのは、樹脂シートの太陽電池セルを製造す

設備では2倍以上の約6万7千kwのエンジン生産が可能になるという。今年6月に着工しており、来年3月に完成、4月に稼働させる予定だ。



▶左からFWAVE(株)の高野章弘、チーフテクノロジーオフィサー、大谷茂弘社長、戸田止明熊本工場長



▶FWAVE(株)が生産するアモルファス太陽電池

池を組み合わせた製造工場増設を計画している。

増設する新工場の場所は南関町肥猪の南関東部工場団地にある熊本工場敷地内（敷地面積5万4370㎡、工場面積は約1千㎡）。新工場は鉄骨平屋建て、床面積は2500㎡。工場建設と屋根材製造設備の導入費など投資額は22億円。現在同工場の従業員数は25人で、今後は40人程度まで増員する予定だという。今年5月に南関町と立地協定を締結しており、着工は2016年4月、操業開始は17年4月を予定している。

新工場で生産する屋根材は、親会社のジニアテックの樹脂加工技術を活用し、軽くて耐久性の優れた屋根材を低コストで生産することが可能な新しい建築資材。従来の屋根材に比べ軽量で耐久性が高いことに加え、施工性にも優れており、施工コストも安く、さまざまな設計に対応できるという。

また、熱サーマルシステムや、従来から生産しているアモルファス太陽電池と



▲FWAVE(株)の研究・開発拠点である熊本工場（南関町）

組み合わせることで、太陽熱エネルギーを有効に取り込み、今後日本国内で需要が見込まれるエコ住宅への増改築など、リフォーム市場に向けた屋根材として量産体制を整えていく。

「耐久性が高く、軽くて簡単に葺き替えのできる当社の商材ならば、施工時間も短くなる。これは施工主・施工業者にとっても大きなメリット。粘土瓦、金属、コンクリートに次ぐ、第4の屋根材を目指す」と大谷社長。



◀イー・ガーディアン(株)熊本センターが
入居する熊電ビル（中央区坪井2丁目）

施工店ネットワークを構築し、ハウスメーカーなどに売り込んでいくという。

欧米では全住宅流通量のうち中古住宅の流通シェアが6〜8割と住宅市場の大半を占めているのに比べ、日本国内では1割台とまだ低いのが現状だ。だが、住宅の供給過剰、空き家の急増といった人口減少社会における課題に対応するため、政府は中古住宅市場の活性化を重要政策としている。このような背景から、「今後国内の中古住宅・リフォーム市場は確実に拡大する」と大谷社長は語る。

を2014年3月31日付でジニアテックに譲渡することと合意。日本に設立した100%子会社のFWAVE(株)が富士電機の太陽電池セル工場の土地、建物、設備と「FWAVE」のブランドを引き継ぎ、事業を継承

ネット投稿監視するセンター 年内に正社員含め50人を新規採用

イー・ガーディアン

「研究・開発型」とは異なるが、最近ではゲーム好きの若者の雇用の受け皿となるよう企業も進出している。インターネットサイトの投稿監視業務などを手掛け

している。戸田正明熊本工場長は「当工場はFWAVE唯一の工場であり、研究・開発拠点でもある。今後は生産拡大や太陽光セルの効率化などに注力していく」と話している。

るイー・ガーディアン(株)(東京都港区麻布十番、高谷康久社長)はこのほど、熊本市中心区坪井2丁目の熊電ビル1階に熊本センターを開設した。



▶太田零生(れお)熊本センター長。入社6年目の27歳で、当初は契約社員からのスタートだったという

同社は楽天やベネッセコーポレーションなど全国数百家からサイトの安全管理業務を請け負っており、ブログやSNS会員制交流サイト(ネット上の掲示板投稿サイトの監視業務、風評調査などを中心に、グループ会社のトラネル(株)と連携し、スマートフォンアプリケーションのリリース前のシステム検査業務などを手掛ける。8月26日には、熊



▲11月からの本格稼働に向けて研修を受ける熊本センターのスタッフら

本市と立地協定を結んだ。

カスタマーサポート、ソーシャルアプリ運用などを主とする熊本センターは全国5カ所目の拠点。9月末に操業を開始。現在は太田零生センター長以下20人で業務を行っており、年内にも正社員含め50人を新規採用する予定。フロア面積は897㎡で投資額は3千万円。最大稼働数(カスタマーサポートの席数)は220席で、24時間対応する。

太田零生センター長は「ゲーム好きの若い人材を積極的に雇用していく。今後、正社員含め300〜400人に規模を拡大さ

せ、熊本の若者の雇用に貢献できるセンターにしていきたい」と話している。

同社は1998年5月設立。2010年東証マザーズ上場。従業員数は584人(うち契約社員459人、14年9月末現在)、資本金は3億4千万円、連結売上高は24億7100万円(14年9月期)。

熊本では県、市町村が推進し進める誘致活動が奏功、近年では毎年のように立地件数が30件を超えており、蒲島県政2期目の目標である「4年で100件」を昨年時すでに達成した。27年度についても9月までの立地件数は19と、例年同様の勢いで推移している。

また、県は研究開発部門や他の生産部門、将来的な生産拠点設置の契機とするため、大学研究と企業の製品開発を推進している。先述した不二ライオメタルと熊本大学の包括連携協定もその一つであり、(株)日本医療機器技研の誘致にもつながったと言える。